

楽しさを忘れないで トップリーグ選手と交流

ジャパンラグビートップリーグの「キャノンイーグルス」の選手4人が11月9日、追中江中央公園を訪れ、市内を拠点に活動するスポーツ少年団の「佐沼プラタナスJr」や近隣ラグビースクールの児童、佐沼高校のラグビー部員など約70人と交流しました。

参加者は、選手からボールのパス回しやキック、タックルなどにアドバイスを受けながら、心地良い汗を流しました。佐沼プラタナスJrの北浦大地君＝中津山小4年＝は「選手の体の大きさ、動作の全てがとてもすごくて驚きました。将来は、イーグルスの選手のように活躍できる選手になりたい」と力強く話しました。



湯澤翼平選手は「楽しんだ分だけ強くなれます。楽しさを忘れず、将来の日本代表を目指してほしい」とエールを送りました。

災害復興の願い込め 大阪から応援メッセージ

市PR動画「登米無双」をきっかけに本市と交流を続ける大阪府堺市立金岡南小学校の5年生から、令和元年台風第19号の被災者に向けた復興応援メッセージ入りの手紙が届きました。

手紙には「台風に負けないで頑張ってください」「休業していたもくもくハウスが再開したと聞いてうれしいです」など、189人の児童一人一人の思いが込められています。メッセージを読んだ道の駅津山「もくもくハウス」の西條孝一駅長は「縁あって大阪の子どもたちからメッセージをいただき、本当にありがたい。復興の励みになります」と児童たちの優しさに頬を緩めました。



応援メッセージは、金岡南小児童が絵を織り交ぜながら丁寧に作成。現在は、道の駅津山「もくもくハウス」に展示しています。

異文化交流を楽しむ 中国人大学生が農泊体験

中国人大学生80人が11月16、17の両日、市内19世帯の農家に宿泊し、ファームステイを体験しました。

ファームステイは、中国人大学生と市民が親睦を深め、友好の促進を目的に開催。金澤寛さん(69)＝石越町第十一＝宅には、北京体育大学の4人が宿泊し、餅つきを体験したり、お互いの文化について話したりしました。中国人大学生の楊果さん(24)は「餅つきは初めての経験。つきたての餅は柔らかくて、とてもおいしかったです。中国では国が土地を管理しているので、山を個人で所有していると聞いて驚きました。文化の違いが新鮮で勉強になります」と異文化交流を楽しみました。



参加者は、ジェスチャーやアイコンタクトなどを交えたコミュニケーションで、互いに心を通わせ合いました。

ハロウィンで謎解き 秋のナイトミュージアム

「ハロウィンdeナイトミュージアム～謎解きでお菓子を手に入れよう～」は10月31日、市歴史博物館で開かれ、思い思いの仮装をした参加者が夜の博物館でハロウィンの思い出をつくりました。

ナイトミュージアムは、昨年まで夏に開催していましたが、今年は初の秋開催。参加者は博物館の敷地内に設置された9つの謎に挑戦し、全て解いた人にはお菓子がプレゼントされました。参加した湖孝龍君＝米谷小2年＝は「難しい謎もあったけど、友達と相談しながら全部解きました。お菓子がもらえてうれしかったです」と目を輝かせていました。



いつもとは違う夜の博物館の雰囲気の中で謎解きを楽しみ、お菓子をもらった子どもたちは喜びの声を上げていました。

30秒で登米市を宣伝 ふるさとCM大賞に出品

自治体などが制作したCM作品を紹介する「2019みやぎふるさとCM大賞発表審査会」(東日本放送主催)が11月20日、仙台市の太白区文化センターで開かれました。

CM大賞は、東日本放送が2002年から毎年開催しており、今年は30市町村から31作品が応募されました。本市からは、浅井洋幸さん(36)＝追町鉄砲丁＝が「百聞は一見にしかずin 登米」と題した作品を制作し、出品。作品には、「登米市の素晴らしい景観を実際に見に来てほしい」という思いが込められています。審査では、構成などで高い評価をいただきました。審査会の模様は、1月3日午後4時から東日本放送で放映する予定です。



審査会には、CMを制作した浅井さんが出席。壇上では、司会を務めた本間秋彦さんに作品に込めた思いを話しました。

みんなの思いを形に 市民の幸せ願う女性会議

本年度最後の開催となった「第4回登米市女性会議」は11月1日、市役所迫庁舎で開かれ、市内で生活する子育て世代の女性委員10人が意見を交換しました。

まちづくり政策フォーラムの足立千佳子理事がコーディネーターを務め、委員は若者定住や働く女性の支援、子どもの学力向上などのテーマに沿った提案をグループごとに発表しました。金野千明さん(39)＝津山町横山9区＝は「誰もが登米市の今や未来に、すてきな考え方を持っていることを知りました。話し合えたことがいつか実現できれば、もっといいまちになります」と今後のまちづくりに期待を込めました。



意見を出し合う女性委員。グループごとに内容を取りまとめ、長倉理恵委員長が報告書を熊谷盛廣市長に提出しました。